東川町地域公共交通活性化協議会

平成20年2月　4日設置
平成21年3月19日連携計画策定

概　要

東川町は、旭川市との間を結ぶ民間路線バスと町内移動を担う町営バスが住民生活に不可欠な公共交通となっているが、利便性の問題等により町営バスの利用が低調であるほか、旭岳・天人峡地区の温泉等観光地への観光交通の充実化も課題となっていることから、利便性を考慮したダイヤ・ルートの再編、地域との協働によるデマンドバスの導入、観光交流の活性化、バス利用の付加価値の向上等により、安心安全に生活できる地域のバス交通の維持及び観光客にわかりやすい観光交通体系の構築を図る。

○利便性を考慮したダイヤ・ルートの再編（21年度～）

・町営バスについて、小中学校や旭川市内の高校に通学する児童・生徒の登下校対応、市街地における買物利用の利便性を高めるため、現行の3路線2台体制から3路線3台体制とし、民間バスへの乗換・接続を考慮したダイヤ・ルートの見直しを図る。

○地域との協働によるデマンドバスの導入（21年度～）

・徒歩圏にバス停がないエリアもあることから利用者が少ない日中時間帯はデマンド化が有効であると考えられるため、デマンドバス導入検証の実証運行を行う。

○観光交流の活性化（21年度～）

・旭岳・天人峡への観光アクセスに重要な役割を担う「いで湯号」、道の駅道草館と旭山動物園を結ぶ「道草号」の利用促進PRや運行内容の充実化等により、観光交流の活性化を図る。

○バス利用の付加価値の向上（21年度～）

・商工会等との連携による特典クーポンの発行、バス車内での各種情報発信等、バス利用の付加価値の向上を図る。